

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上飯田地域ケアプラザは上飯田地区、いちょう団地地区、上飯田団地地区の3地区を担当しています。3地区に共通する課題として地域の方々が高齢によって外出機会が減少し、地域活動の参加者が減少することが予測されます。また地域活動の担い手の高齢化によって活動の継続が難しくなることも予測されます。体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう支援していきます。ケアプラザとして地域のサロンなどの活動の後方支援やお祭りへの出店など地域活動への協力をはじめ、外出困難な方への社会参加のために、近隣福祉施設と連携して地域での移動支援サービス体制の構築に力を入れていきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- 現在地区内にある高齢者食事会 と、地域行事に向けた「移動支援サービス」を継続実施していきます。また並行して買い物支援のニーズに対応するため「移動販売」実施に向けての協議体を開催し取り組んでいます
- 介護者の集いを隔月で開催します。特にミニコーナーでは、相談機関や認知症などの対応を伝える場づくり、家族支援を行っていくことで、地域の皆様との信頼関係を構築して参ります。
- 男性の地域活動の参加促進を目指し、男性の料理教室を年6回開催。また、昨年度、男性の料理教室に参加されたメンバーを対象に、男性の料理教室OB会を年6回開催します。
- ・地域活動の情報提供や必要に応じて活動の場を作るなどの支援を行います。
・ケアプラザから離れた地域の住民主体の活動に対して、介護予防の要素も取り入れて継続支援していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・コロナ禍の関係上、地域活動が低迷し「移動支援サービス」は実施には至らなかった。しかし「移動支援サービス」における“感染予防マニュアル”を作製し、住民にも周知して再開後すぐに対応できるよう準備を整える。
- ・自粛期間終了後、すぐに「買い物支援検討会（移動販売）」を再開。地域福祉計画にも運動させ、企業との面談にまでこぎつける。
- ・男性の料理教室OB会は感染予防を考慮し、年内の開催は見合わせた。年明けに一度実施し、作ったものを持ち帰る方式で開催する。
- ・介護予防講座を実施後、気軽に参加できて様々な情報を得ながら交流できる活動の場として、主に介護予防に関する情報を発信しながら継続していく。
- ・地域の住民主体の活動の場に、介護予防に関する講座を提供した。
- ・身近な場で集まれる場として、上飯田ふれあい広場でサロンを開催する。
- ・介護者の集いを隔月で開催予定であったが、コロナ感染対策のため人数制限を行い、毎月開催した。

区からのコメント

(地域活動交流)

従来のホームページの更新に加え、今年度は新たにインスタグラムを開設しました。写真を豊富に活用した新しいツールの活用により、従来はケアプラザに接点のなかった層への情報発信にも努めました。
男の料理教室については、調理系の企画は感染症予防対策が難しい面もありますが、工夫を行い開催を目指している点は評価できます。

(地域包括支援センター)

介護者のつどいにおける開催時の工夫、介護予防講座開催時に成年後見制度と虐待についての勉強会実施など、事業の繋がりを意識した取り組みが行われています。個別支援においては、介護相談や初期集中支援チームを活用しながら、困難な事例にも連携して対応していました。
次年度も、郵便局やLSAと連携した支援を期待しています。また、地域ケア会議実施に向けた調整も併せてお願いします。

(生活支援体制整備事業)

コロナ禍においても、地域課題である買物支援について積極的に地域住民と検討を重ね、民間企業、関係機関と連携しいちょう団地で移動販売を実現する素晴らしい取組を行うことができました。次年度も住民のニーズに合った取組を地域住民、関係機関、団体とともに推進していくことを期待しています。